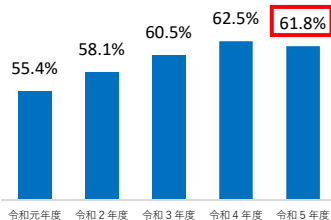
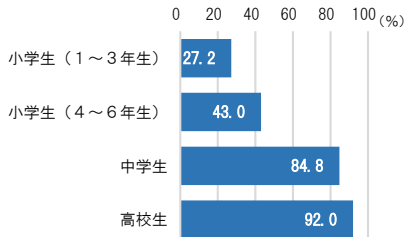


# ① 小中高生のスマートフォンの利用状況

## 過年度比較 (全体)



## 学識別比較

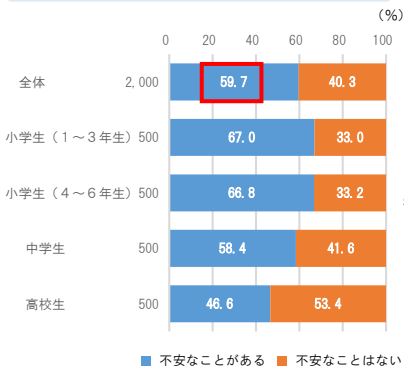


小中高生のスマートフォン所有率**61.8(-0.7)%**と高い水準。

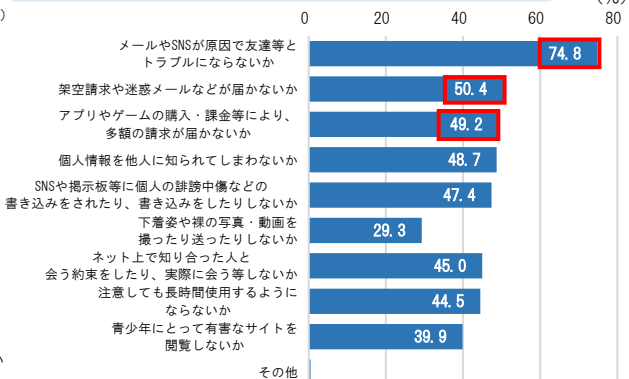
中学生、高校生では8割以上が所有しており小学生においても低学年が約3割、高学年は約4割が所有

# ② 子供にスマートフォンを持たせることへの不安

## 学識別比較



## 保護者の不安な内容



スマホを子供に持たせることに不安を抱く保護者の

**74.8(-1.3)%**が

メールやSNSが原因の友達等とトラブルにならないか

**50.4(-4.6)%**が

架空請求や迷惑メールなどが届かないか

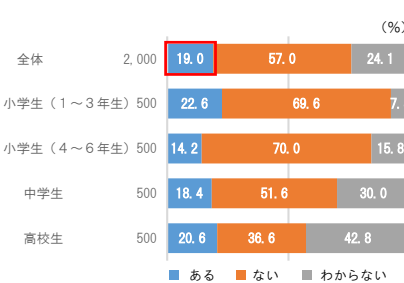
**49.2(-7.4)%**が

アプリやゲームの購入・課金等により多額の請求が届かないか

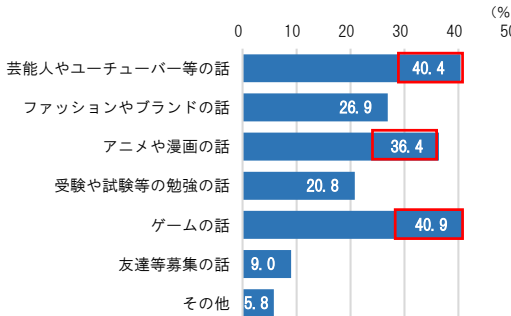
について不安を感じている。

# ③ SNS等を通じた知らない人とのやり取りの内容

## 知らない人とのやり取りの有無



## やり取りすることになったきっかけ



**19.0(+0.2)%**の保護者が、「子供がSNS等を通じて知らない人とやりとりしたことがある」と回答。

やり取りのきっかけは、

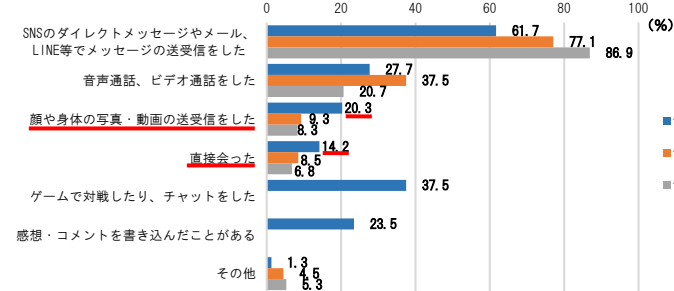
「ゲームの話」が**40.9%**

「芸能人やYouTuber等の話」が**40.4%**、

「アニメや漫画の話」が**36.4%**

の順に多い

## 知らない人とのやり取りの内容



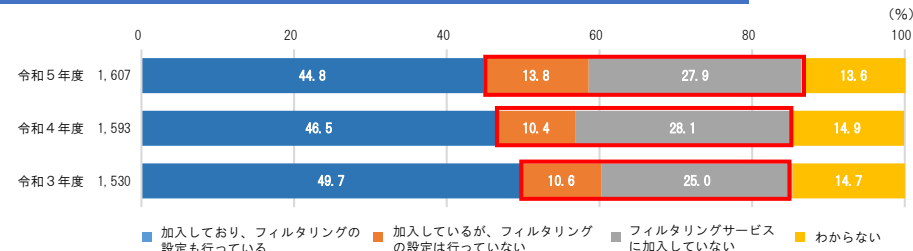
「子供が知らない人とやり取りをしたことがある」と回答した保護者のうち、

**20.3(+11.0)%**が「顔や身体の写真・動画の送受信をした」と回答し、

**14.2(+5.7)%**が相手方に「直接会った」と回答

※令和4年度から大幅増加

# ④ フィルタリングサービスの利用状況



フィルタリングサービスの設定をしていない割合は全体の

**41.7(+3.2)%**

令和3年度**35.6%**、

令和4年度**38.5%**と年々増加傾向